

抗菌薬の正しい使い方

抗菌薬は「細菌」にしか効かない！

細菌



大きさ
0.001mm

抗菌薬



ウイルス



大きさ
0.00001mm

細菌による病気
肺炎、中耳炎、膀胱炎など

ウイルスによる病気
かぜ(感冒)、インフルエンザ、
風疹など



症状によって必要な対応は異なります
診察を受けた医師の指示にしたがってください

症状



かぜ
(感冒)



はな
(急性鼻副鼻腔炎)



のど
(急性咽頭炎)



せき
(急性気管支炎)

抗菌薬の使用



不要



中等～重症は
使用検討



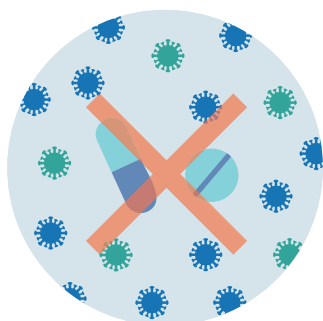
A群溶連菌に
よる場合は必要



百日咳を除き
成人は不要

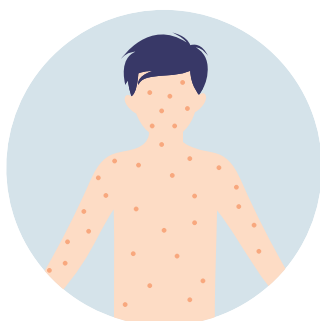
厚生労働省作成「抗微生物適正使用の手引き 第三版」による 対象:基礎疾患のない学童期以降の小児と成人

抗菌薬を正しく理解しましょう



抗菌薬の効果

ウイルスが原因の病気
には効きません。



副作用

下痢・嘔吐・発疹などの
副作用をおこすことも
あります。



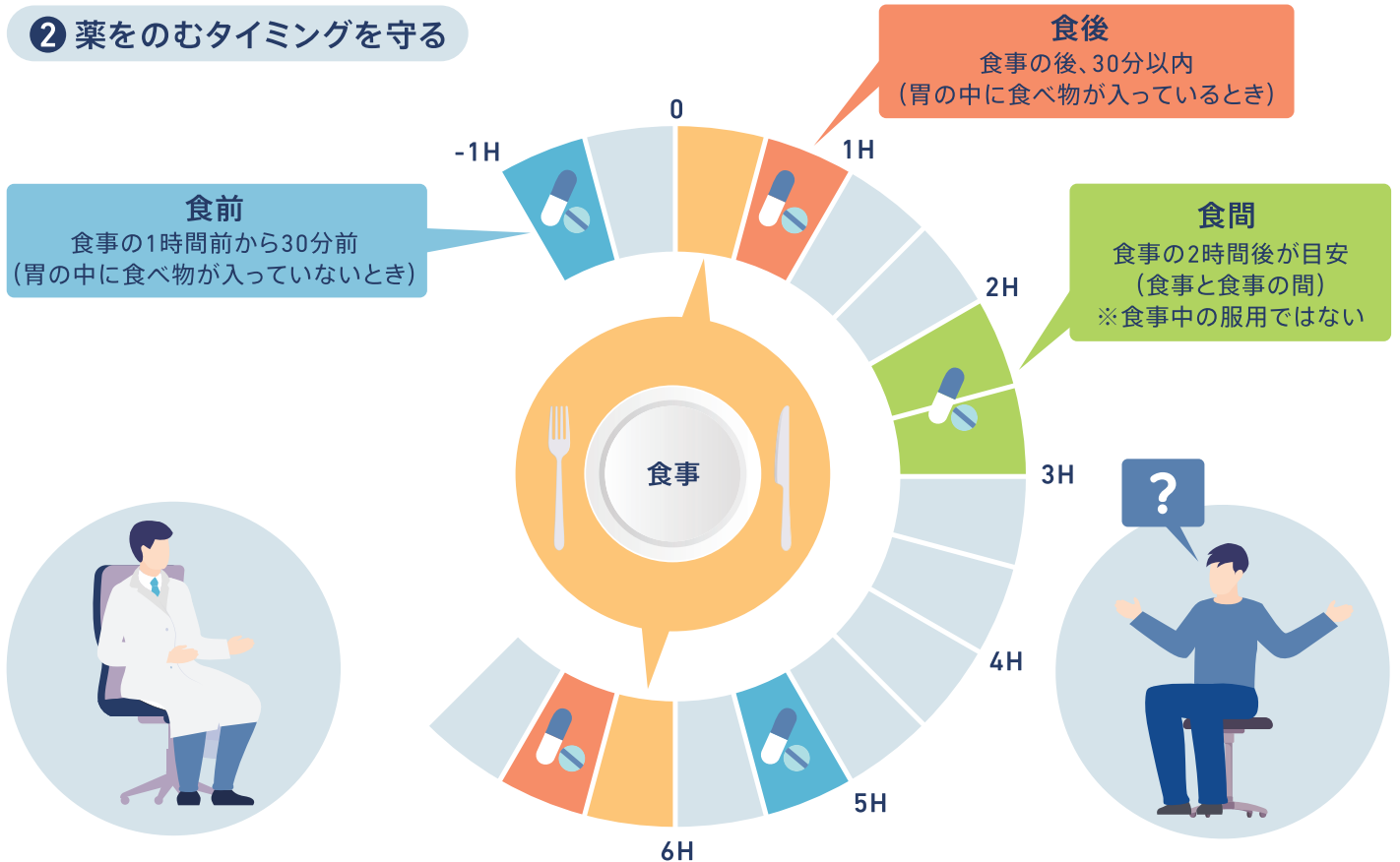
薬剤耐性へのリスク

必要のない抗菌薬の
服用は薬剤耐性菌の
増加につながります。

薬の正しいのみ方

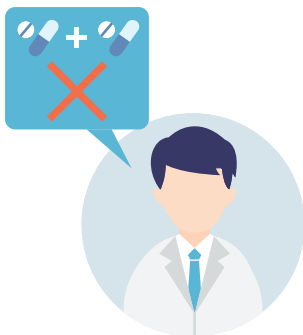
① 医師・薬剤師の説明を良く聞こう わからないことは質問しましょう

② 薬をのむタイミングを守る



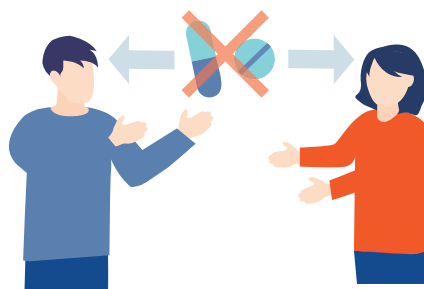
③ 薬をのみ忘れた時

気がついた時にすぐにのみましょう。
ただし、次の服用時間が迫っている場合は1回分を抜いて、その次からいつものようにのみます。
詳しくは、医師や薬剤師に確認してください。



④ 処方された薬はあげない、もらわない

その人の症状や体質・年齢などを考慮して処方されているため、症状が似ていたとしても、他の人が使ってはいけません。



⑤ 薬ののみ合わせに注意

薬やサプリメントののみ合わせには十分な効果が得られなかったり、逆に効き過ぎて体に悪影響を及ぼしたりすることがあります。



AMR 臨床リファレンスセンター

Antimicrobial Resistance Clinical Reference Center

厚生労働省委託事業